

会員便り

近況報告

末木貫一

会社を退職して十九年が過ぎました。

一番変わった事は、溪流釣りの回数が減った事です。退職した当時は、少し時間があれば、川へ行つて来るよと出かけた。近場では、宇多川、石田川、丸森の五福谷川等である。

五福谷川は大地震の時、三月で溪流釣りが解禁になったので、昼食をすませてから出かけた。一時間もやらないのに地震で川向の杉林が、ゆらゆらと揺れ、あちこちから石が転がり落ちる音が聞こえ、やばいなあと思った。一台の軽自動車が下つて来たので、Uターンした軽と一緒に帰る事



コイにエサをやる橋の上で

にした。大きな石が落ちていたが二人で動かし、やつとの思いで帰る事が出来た。

最近飯坂の湯野のリング畑に五月中旬から六月中旬にかけて摘果と、秋の摘葉を頼まれて出かけている。リングも他の果物と一緒に、数を減らしサイズを大にする為である。

時期的にキジの繁殖期なので雄がケンケンと鳴き、直後羽根をバタバタさせるのを見たり、聴いたりする。今年一回兎が来て、チヨロチヨロしていた。

作業をしていると、音の花火が聞こえることがある。サルを追い払う音である。摘果作業は余分の実を落とすだけだが、秋にリングがぶつからない様に、スペースをとる必要もある。脚立に上がるので落ちないよう注意している。

時期的に天候が良く、日焼けで黒くなる。自宅の横を流れる東根川にはコイ

がずい分いる。朝と夕方方食パンの8枚切を2枚、サイコロ状に切り橋の上から播く。冬の寒い時は出てこない事が多いが、今はすごい勢いで食べる。池で飼う鯉のようで、かわいいものである。上から見た感じで、大きいのは7センチはありそうだ。8枚のパンが2日で無くなるが、当分続けるつもりである。

高橋良夫さんを 偲んで

麓野一典

大変お世話になりました高橋良夫さんが2月8日(72歳)御逝去されました。高橋良夫さんは神奈川県相模原市の東洋通信機から42年前に福島県保原工場に奥様とご一緒に転籍され仕事に従事しながらソフトボールの監督として3年間指導をして頂きました。

男子ソフトボール部を創設し、野球、ソフトボール経験の無い素人の私達を丁寧に指導して頂き、3年間で全



全日本一般ソフトボール選手権大会 東北予選会 昭和58年7月 前左列から3番目：高橋監督 泉市総合運動場 (前列右から2番目：筆者)

国大会へ出場できるチームに育てて頂きました。その3年間の思い出は沢山ありますので紹介を致します。①ソフト部の練習時間前に一番早くグラウンドに來られグラウンド整備をしておられた姿です。選手が怪我をしないように常にグラウンドを綺麗にして頂いた姿は忘れられません。②練習は毎日の昼休み、定時後の練習、また、毎週金曜日は練習後に高橋さんのお宅でソフトボール談議をしながらの楽しい飲み会です??③

その後、高橋良夫さんは現在の福島橋クラブの監督に就任され、全国ソフトボールクラブ女子大会で全国優勝2回、準優勝2回を達成された輝かしい功績を残されました。高橋良夫さんの教えを頂

初次全国大会(奈良県大和市)試合が終了するまで、禁酒で戦ったこと。④練習は本当に厳しかったのですがチームが強くなる感動がありました。⑤私の事です。全国大会前の早朝練習に寝坊してグラウンドを20周走り、その後の練習でバテバテになって仕事が辛かった思い出(ピッチャーの原点になりました)その他にも、高橋良夫さんの人間愛。沢山のソフトボールの戦術論、更に楽しいお酒の飲み方??を教えてくださいました。

42年間、ソフトボールを教えて頂きまして本当にありがとうございました。ゆっくり休んでください。感謝

しているチーム、監督、選手は大勢おられます。高橋良夫さんのソフトボールへの信念は福島県の多くの監督、選手に引き継がれ、福島県のレベル向上に多大なご尽力を頂きました。更に、福島県ソフトボール協会理事長、技術委員長をお勤めになられた福島県のソフトボールの発展に尽力を頂きました。心から感謝を申し上げます。今後は高橋さんの教えを忘れることなく、ソフトボールの素晴らしさを微力ではありますがソフトボール愛好者に伝えて行きたいと思ひます。